

笑顔で対話

羽島市教育委員会

育ちと学びを 幼児期から中学校までを一つにつなぐ

本市では、今年度から始まる「第三次教育振興基本計画」において、「幼児期からの切れ目のない支援の充実」を重点項目の1つに掲げています。こどもの成長は、幼児教育機関から小学校、そして中学校まで、連続しているからです。

心、学び、人との関わりは、少しずつ積み重なって育っていきます。だからこそ、環境の変化が、不安やつまづきにつながらないように、変化を「段差」ではなく「スロープ」にしていくことが求められます。こどもたちが安心して自分の力を伸ばし続けられるように、各学校が工夫して行っている取組を紹介します。

小学生の中学校登校～つながり広がる学びの橋渡し～（羽島中校区、竹鼻中校区）

羽島中学校区や竹鼻中学校区では、小中交流の一環として、「小学生の中学校登校」が行われています。

中学校の先生による授業を中学校の教室で受けることで、進学への不安が軽くなるとともに、学習に必要な姿勢を知ることになり、「中1ギャップ」の解消につながります。そして、中学校入学までに、自らを振り返り、どのような準備が必要なのかを確認することができるようになります。さらに、羽島中学校区では、別の小学校のこどもと一緒に学ぶスタイルを一部で導入しました。多くの意見に触れ、自らの考えを深めたり、学び方の違いに刺激を受けたりする姿が見られました。大人数のグループワークを通じて、コミュニケーションをする力もはぐくまれたようです。「楽しい授業を受け、4月から通うのが楽しみになった」といった声も聞かれ、意味のある時間となりました。

義務教育9年間を見通した教育を行うことで、シームレスな学びを実現し、一人一人が夢を掴む歩みに寄り添えればと考えます。



【竹鼻中・理科 池の中には何がいる？】



【羽島中・国語 この歌の工夫は？】

小学校1年生 朝の「にこにこタイム」

～幼児教育の「遊び」を小学校の「学び」へつなげる～（福寿小）

幼児教育から小学校への接続について、「こどもたちの育ちの連続性」が最も大切であり、幼児教育で「遊び」を通して育てた力を小学校の「学び」につなげていくということが必要です。

福寿小学校では、そのために、毎朝、こどもの自主性を生かした「にこにこタイム」を位置付けています。1年生のこどもたちが、自分たちで活動を選択します。登校して健康観察を終えた後、自分たちが選択した活動を行います。そして、その活動が充実するように試行錯誤します。校庭で元気に体を動かす子、特別教室で折り紙やこま回しに熱中する子、明るい笑い声が響いていました。

こどもの発達は、一人一人違います。こうした時間を保障することが、探究的な学びをする基礎を培うことにつながります。市内にさらに広げていきたい取組です。



保護者主催の交流イベント ～入学の不安を和らげる～（羽島中校区 PTA）

羽島中学校区では、学校の取組に加え、保護者が中心となって、小中の円滑な接続が行えるようにする取組が行われました。卒業を間近に控えた2月に、羽島中学校の体育館に、足近小、小熊小、正木小の6年生約50名が集合し、ドッジボールやソフトバレーボール等を通して、楽しく交流する時間を過ごしました。こどもたちの自然に打ち解け合う姿が印象的でした。このような活動が人間関係を「ゼロからのスタート」にしないことや「各学校の文化の橋渡し」につながります。何より、学校に任せきりにせず、保護者が主体となって行うことは、こどもたちの「学校外からも支えてもらえる」という安心感につながります。主催した保護者の皆さんは、「今後も継続して開催し、入学への不安を少しでも和らげてあげたい」と語ってくださいました。こどもたちを多くの手で育てる取組、本当に素晴らしいです。



お知らせ

令和8年3月、本市の教育の指針となる「第三次羽島市教育振興基本計画」を策定しました。市のホームページに掲載しております。

【第三次羽島市教育振興基本計画】 <https://www.city.hashima.lg.jp/2393.html>



羽島市教育委員会事務局 教育政策課

〒501-6292 羽島市竹鼻町 55 番地

TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906

Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp